

## 120612 第8回「国語教育法」講義感想

### タイトル集

- 話すこと、聞くこと、書くことはやっぱり必要だった！
- 目玉授業を作ってみよう
- 「話す」「聞く」をとりこんだ指導計画
- あなたの目玉商品は何ですか？
- 授業のいろは…
- 計画は工夫も必要だね
- 自分の授業計画のセールスポイントをアピール！
- わたしが一番人と話をしなかったとき
- 国語の教室に彩りを
- 目標を持って指導計画をつくろう
- これが私の目玉商品！～指導計画案をつくる②～
- 学習指導要領を踏まえつつ目玉の授業を！
- 指導計画作り～生徒と指導要領の板挟み～
- 工夫した授業も「まとめ」が大切
- ゴールを見据えた授業作り
- やらせっぱなしはダメ
- 指導計画は「まとめ（落とし所）」が大切！
- 授業に色をつける
- 授業の目玉とそのポイント
- 話すこと聞くこと書くこと読むこと

### 感想集

① ●●

○前は、季節感やジャンルの多様さを主に考えながら年間指導計画案を作ったのですが、今回、話すこと・聞くこと・書くことを主とする授業を取り入れたことで、計画案により具体性や多様性が増したような気がしました。クラスの人の計画案を聞くのは、自分では思いつかないような考えが出てきたので面白かったです。

② ●●

○今日はとにかく自己PRが緊張したということにつきました。慣れるには、回数をこなすしかないと思うので、これからがんばります。年間指導計画作成では、他の皆さんの考えた「目玉授業」が大変参考になりました。

③ ●●

○皆それぞれ個性的な指導計画を立てていて面白かったです。話す、聞くを取り入れたり、行事などで時間が空いてしまうことを考えて組むのは、2回目でも難しく感じました。

④ ●●

○自分では思いもよらなかったアイデアなどが聞くことができ参考になりました。今回出てきた授業はどれも面白く、どの授業も生徒となって受けてみたいと思いました。表現の扉に関しては、後処理が大変だということでしたが、授業としてはとても楽しいと思うので、多く取り入れたいです。

⑤ ●●

○従業を行う際に何かしらの意図をもって行わなければならないので、(当たり前なんですけど)最近をよく頭を悩ませています。個人的には国語の授業に対して今まで魅力を感じたことがなかったので、今日やった授業で挙げられた皆さんの授業計画は面白そうなものばかりだと思いました。指導要領を踏まえた私たちは案を考えているわけですが、実際の現場ではそうでもないのかも知れないと思いました。そんなことはないですか？

6 ●●

○今日は自分なりに工夫してもう1回年間指導計画をつくるということだったが、やっぱり難しかったです。教材研究をしっかりとしていると他の教材と関連させることができるのかと思いました。表現の授業は後始末が難しいとおっしゃっていましたが、生徒がやってきた課題はどんなものでもフィードバックをきちんとしてあげたいと思います。それが実際にできるかは分かりませんが…。

7 ●●

○自己PRがものすごく緊張しました。●●ブラザーズに先にやってほしかったです(笑)。臨機応変に対応する力が乏しいなど改めて感じたのはよかったです。今日また年間指導計画を立ててみて、表現を大事に取り扱いたいと思いました。しかし、それを評価するとなると難しいですね。先生の主観がどうしても基準になってしまうので…。経験値を積んでから自分のやりたい授業をやるのがいいのかなと思いました。

8 ●●

○高校1年生の時の私は、人に対して自らの意見を言うことはおろか、人と話をするのもあまりなかったので、国語の授業で自らの意見を述べる機会を設けることは、大切なことなのではないかと思っています。私も「人と話すことの重要性」をこんこんと説いてくれた先生に国語という科目を通して出会うことができたので、今度は私がそういう先生になれたら良いなあと思います。

9 ●●

○自分が教員になったら絶対やってやろうと考えていたのが今日のテーマでした。シェイクスピアとかの有名戯曲も教えてやりたいし、教科書の作家に絡めてその人物の話や他の文章も採り上げてみたいのですが、定期試験の存在が悩みの種ではあります。教科書外の題材で(しかも自分独自の意図で選んだものを)試験で公平に出すのはどこか気がひけてしまいます。

10 ●●

○指導計画を作るには、一年の中で国語を通して生徒の何を育てたいかを考える必要があると思いました。大きな目標から逆算して計画を練る、それを作る教師という仕事はとても責任が重いと感じました。

11 ●●

○私は生徒が主体となって発表したり、表現したりすることを意識して授業を作りたいと考えています。自分の意見を持つということが大切だと思うからです。フィードバックや返事が大切だということでしたが、先生の言葉や反応によって表現の授業は明るく有意義に発展していくだろうし、生徒が表現するなら教師も同じ気持ちをもって伝えたいことを表現し続け、相互のやりとりを常に意識することが重要なのだと改めて感じました。

12 ●●

○先生がおっしゃってらした通り、「表現」の内容は楽しいのですが、後始末、まとめが大変だと思い、自分で組みながら気がつく、計画案から数が減っていました。ですが、「2年後の自分へ手紙を書こう!」や「詩をつくろう!」など「表現」についてよくやっていたので、国語科の先生方の机は常に山積みだったのか…と思い出しました。

13 ●●

○生徒のことを考えて、そして指導要領に沿った授業計画を作らなくてはならないというのは、すごく大変だと身をもって感じました。結局のところ、先生がどんな思いで、どのように生徒を育てたいか明確にしていけないのだと思いました。

14 ●●

○先生の話聞いていてなるほどと思いました。確かに時間さえあれば、教科書にない教材を使ったり生徒自身に創作させたりなどという工夫はした方がいいと思うししてみたいと思います。けれども、実際に指導要領や本来の教材に絡めて「まとめ」や「評価」をしなければならないとすると、また難しい問題になってくるなと思いました。

15 ●●

○単なる授業の数合わせで指導計画を組むのではなく、その教材によって生徒に何を伝えたいのか、何を学んでほしいのかを明確にしなければならないと強く感じました。

16 ●●

○まとめが大事ということは、授業デザインを考える上でもいつも気にしていることだったので、やはりそこが重要なのかと改めて思いました。ディベートや発表など、やらせることは簡単ですが、それをまとめるのには力が必要になると思います。

17 ●●

○先週はいきなりだったので明確なねらいと定めずらかったのですが、今週の作業では授業の山場という「軸」を定めることがテーマとなっていたので、考えやすかったです。やはり授業も一年間全力疾走ではなく、「緩急」が必要だと感じました。

18 ●●

○前回と違って今回は中核となるものを考えなければならなかったもので、大きく順番を変更が出ました。私は「想像力」を重視したかったので、前回と同様に内容に関連させて組んだのですが、「作品を作らせる」ことを考えると、自信の持てる案ができました。

19 ●●

○工夫した授業を考えつつ、しっかり生徒たちに力をつけさせるということで、前回よりは考えるのが難しかったです。どうしたら楽しんでもらえるかを考えるのも大切ですが、それがどう活かせるかまでしっかり考えなければいけないと思いました。

20 ●●

○話す、聞く、書く、読むという要素を組み込んで授業をつくるのは難しいと思いました。また、おもしろい授業ができたとしても、それをどうまとめるかで生徒に残るものが大きく変わるので、本当にじっくり考えなければならないのだと思いました。